

死亡届

令和2年1月9日届出

東京都千代田区 長 殿

受理 令和 年 月 日 第 号 発送 令和 年 月 日 第 号 長印

(1) (よみかた) みんな いちろう (2) 氏名 氏 民事 名 一郎 (3) 生年月日 昭和23年12月14日 (4) 死亡したとき 令和2年1月9日 (5) 死亡したところ 東京都港区虎ノ門一丁目1番1号 (6) 住所 東京都千代田区霞が関一丁目1番1号 (7) 本籍 東京都千代田区丸の内一丁目1番 (8) 死亡した人の夫または妻 (9) 死亡したときの世帯のおもな仕事 (10) 死亡した人の職業・産業 (11) 届出住所 東京都千代田区霞が関一丁目1番1号 本籍 東京都千代田区丸の内一丁目1番 署名 民事 太郎 印 昭和51年12月28日生

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。死亡者の本籍地でない役場に出すときは、2通出してください(役場が相当と認めるときは、1通で足りることもあります。)

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)にも用いられます。

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名 民事 一郎 1男 2女 生年月日 明治 昭和 大正 平成 令和 23年12月14日 死亡したとき 令和2年1月9日 午前・午後 4時10分 死亡したところ 東京都港区虎ノ門一丁目1番1号 病院 脳出血 動脈硬化症 10時間 4か月 死因の種類 1病死及び自然死 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焰による傷害 12不詳の死 外因死の追加事項 1居住 2工場及び建築現場 3道路 4その他 1無 2有 手術 1無 2有 解剖 1無 2有 出生時体重 単胎・多胎の別 1単胎 2多胎(子中第子) 妊娠週数 満週 母の生年月日 昭和 平成 令和 年 月 日 前回来までの妊娠の結果 1無 2有 3不詳 出生児 死産児 胎 人 (妊娠満22週以後に限る) 東京都港区白金台1丁目3番6号 法務 康

記入の注意

一 生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

一 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「5老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名称に続けて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

傷病名等は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について発病の型(例：急性)、病因(例：病原体名)、部位(例：胃噴門部がん)、性状(例：病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後満何日」と書いてください。

I欄及びII欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火焰による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1居住」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

一 傷害がどのような状況で起こったかを具体的に書いてください。

一 妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

一 母子健康手帳等を参考に書いてください。